

議会費 9,835万円
公債費 149,501万円

借入した町債（借金）を返済する費用

職員費 213,401万円
町長以下職員の給与、共済費など

教育費 69,446万円

熊石高等学校間口減対策事業 427万円
2 間口を維持するため、通学・下宿・見学旅行に対する助成
学校体育館床ワックス塗布 80万円
雲石小、泊川小、熊石第二中
小牧市・八雲町児童学習交流事業 274万円
25 年目 夏期 40 名を受け入れ、冬期 20 名を派遣
英語指導助手配置事業 686万円
栄浜 2・3 遺跡発掘調査事業 3,775万円
国道 5 号改良工事に伴う発掘調査
（受託事業収入 3,775 万円）
図書館の管理運営に係る費用 3,605万円
総合体育館の管理運営に係る費用 1,842万円
町営スキー場の管理運営に係る費用 2,075万円
温水プールの管理運営に係る費用 3,611万円

商工費 32,340万円

観光パンフレット・観光マップ作成事業 441万円
パンフレット 3 万部、マップ 5 万部
落部公園つつじ祭り 165万円
旧落部村合併 50 周年記念事業分として 35 万円を増額
八雲牧場まつり 200万円
あわびの里フェスティバル 250万円
中小企業育成資金貸付金 16,300万円
道南休養村管理事業 1,129万円
青少年旅行村などに係る管理経費
地熱開発利用事業 1,928万円
平田内温泉の泉源の管理経費
鉛川観光施設管理費 2,191万円

労働費 5,490万円

緊急就労対策事業 1,747万円
町有林の枝打ち、町有施設のワックス塗布など
労働振興貸付金 3,500万円
勤労者のための融資資金を労金八雲支店へ預託



町の鳥『オオワシ』

鳥については、町内に生息または飛来するもののうち、地域外に対して訴求力のあるものと言った選考基準から、天然記念物に指定される希少価値の鳥で、その姿が雄大であることから「オオワシ」としました。



町の花『ひまわり』

花については、「美しい町づくり」のシンボルとして町民が取り組みやすいものと言った選考基準から、手軽に植栽することができ、また、花のイメージは明るく元気で、厳しい条件の中でも力強く育つなど、合併後の新しいまちづくりにふさわしいことから「ひまわり」としました。

新町のシンボルとなる花、木、鳥の選定について、昨年 5 月に八雲町総合開発委員会（会長 鈴木譲）から答申を受け、今年 3 月の第 1 回定例会において議会の承認を得て、4 月 1 日付で次のとおり指定しました。

町の花、木、鳥が決まりました！

八雲町と熊石町が合併し、新しい町が誕生したことから、このたび、新たに町の花、木、鳥を指定することになりました。「ひまわり」「オンコ」「オオワシ」が町民の皆様にも馴染まれ、まちのシンボルとなることを大いに期待しています。特に、ひまわりは、家庭や職場において育てていただき、「まちいっぱい」に花咲くことを願っています。

平成 19 年 4 月 1 日
八雲町長 川代 義夫



町の木『オンコ』

木については、地域や各家庭に多く存在しているものと言った選考基準から、庭木として多くの町民に親しまれ、その姿に愛着が持たれていることから「オンコ」としました。